

# 信州しおじり 本の寺子屋

## ～読書からの 地域づくり 人づくり～



塩尻市立図書館（長野県塩尻市） <http://www.library-shiojiri.jp/>

### 基本データ（数値はH25年現在）

住所	塩尻市大門1-12-2
電話番号	0263-53-3365
人口（図書館が所在する市町村）	67,200人
職員数（うち有資格者数）	72人（26人）
蔵書数	45万冊
登録者数	42,700人
年間貸出冊数（H24）	679,841冊

### 目的・趣旨

活字離れと言われる昨今の状況に対して、著者、出版社、書店、図書館等が連携して本の魅力を発信し、読者も含めて人々の知恵の交流を促すことで、地域力を高める文化の創造と発信に挑戦する。

### 取組概要

鳥取県米子市の「本の学校」の精神を原点に、支援も頂きながら、信州版かつ図書館版「本の学校」として「信州しおじり 本の寺子屋」を、平成24年に開校した。

出版に生涯を捧げた筑摩書房の創設者古田晁生誕の地であることも大きな背景となっている。

著者から読者までをつなぎ、様々な形で本の魅力を発信すること、そのために図書館自身が力を付けること、という2つが大きな柱。

多彩な講師陣による講座・講演会のほか、原画や装丁、書簡等の企画展やビブリオバトルなどを継続的に開催し、多様な本の魅力を発見する機会を提供している。



装丁企画展：右は「百科全書」、左は「世界のはての泉」（ウィリアム・モリス）

### 特徴

「本を読まなくなった」と言われる世相を危惧する、本に関わる各面が連携して自ら課題解決に取り組む事業。

その趣旨に賛同いただいた多彩な講師陣が魅力の一つ。カリキュラムを年度当初に発表し、関心のある講座が選べる。

また特に、塩尻市立図書館の大きな柱である「地域支援」の一環として、地元書店との連携を重視している。

書店は広報の一端を担いながら、講演会場では、著作の販売を行ったり、書店員と図書館員のお勧め本チラシを発行したりと、具体的な連携が進んでいる。相互理解を深める中で、地域の読書環境が整っていくことを願っている。



寺子屋を支えていただいた講師の皆さん（一部）

### 取組の成果と今後について

まだ始めたばかりで、内容について工夫の余地は多い。書店と図書館の連携による地域の活性化と、出版関係と図書館との交流創出が大きな課題。さまざまなジャンルの著者をお呼びすることで、市外はもちろん、県外からの参加もあり、多様な皆さんが参加し交流できる企画として発展させたい。